

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年01月14日(金)

事務事業				救急医療体制整備事務				担当課	保健センター	担当係	地域医療係	管理番号	3342							
第2次総合計画							事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務	対象拡大 サービス拡充	有□ 有□									
	行計 政画 分施 野策 別名	大項目	200001	健康でいきいきと暮らせるまち（子育て・保健・福祉）										根拠法令 個別計画 等	深谷市病院群輪番制病院運営事業補助金交付要綱 深谷市公的病院等運営費補助金交付要綱					
		中項目	200002	健やかで元気に暮らせるまちづくり																
	小項目	200002	地域医療体制の充実																	
事業概要				本事業は、深谷市の救急医療体制を充実させるため、初期救急医療体制として休日診療所・こども夜間診療所、当番医による在宅診療を開設し、第二次救急医療体制として祝休日、夜間に入院が必要な重篤の救急患者が医療を受けられる体制を確保し、また、第三次救急医療を担う救命救急センターの運営の安定化を図るため、関係市町とともに深谷赤十字病院に補助金を交付するものである。																
目的 ※何のために				市民が必要な時にいつでも救急医療を受けることができる。																
対象 ※誰・何を対象に				①初期救急医療体制では、比較的軽い救急患者、②第二次救急医療体制では、入院が必要な救急患者、③第三次救急医療拠点確保では、重篤の救急患者。																
手段 ※どのように				初期救急医療体制では、深谷寄居医師会に、第二次救急医療体制では病院群輪番制参加病院に運営費補助金を交付する。また、第三次救急医療（救命救急センター）を担う深谷赤十字病院に補助金を交付する。																
成果 ※何を求めるか				市民のための救急医療体制の確保																
執行体制				■ 市職員 ■ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 市民ボランティア □ NPO 民間団体 ■ その他（関係医療機関等）																
事務事業を構成する 予算事業				会計区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）							
				一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	01	保健衛生総務費	在宅当番医制運営事業	2,467,440								
				一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	01	保健衛生総務費	病院群輪番制病院運営費補助金	65,034,764								
				一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	01	保健衛生総務費	休日急患センター運営費補助金	8,000,000								
				一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	01	保健衛生総務費	深谷赤十字病院運営費補助事業	128,955,000								
				一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	81	総合健診センター管理費	休日急患センター運営費補助金	0								
本事業の 主な業務				・ 在宅当番医委託、県報告							・									
				・ 病院群輪番制病院運営費補助金交付事務							・									
				・ 小児救急医療支援事業（県補助対象）							・									
				・ 休日急患センター運営費補助金交付事務							・									
				・ 休日急患診療所後方支援事業事務							・									
				・ 深谷赤十字病院運営費補助金交付事務							・									

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・ 小児救急医療支援、医師派遣	・ 小児救急医療支援、医師派遣	・ 小児救急医療支援、医師派遣	・ 小児救急医療支援、医師派遣	・ 小児救急医療支援、医師派遣	・ 小児救急医療支援、医師派遣
		・ 深谷赤十字病院補助金交付事務	・ 深谷赤十字病院補助金交付事務	・ 深谷赤十字病院補助金交付事務	・ 深谷赤十字病院補助金交付事務	・ 深谷赤十字病院補助金交付事務	・ 深谷赤十字病院補助金交付事務
		・ 休日診療所補助金交付事務	・ 休日診療所補助金交付事務	・ 休日診療所補助金交付事務	・ 休日診療所補助金交付事務	・ 休日診療所補助金交付事務	・ 休日診療所補助金交付事務
事業費	予算（現額）	95,742,000	78,650,000	78,981,000	205,612,000	105,632,000	78,111,000
	決算額	94,741,472	77,522,707	77,762,893	204,457,204	0	0
	国支出金	0	0	0	100,000,000	0	0
	県支出金	0	0	0	15,733,000	15,746,000	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	12,683,736	12,706,464	12,791,631	24,037,742	24,334,000	12,797,000
人件費	一般財源	82,057,736	64,816,243	64,971,262	64,686,462	65,552,000	65,314,000
	従事職員数(人)	0.81	0.76	0.71	0.86	0.62	0.62
	人件費相当試算 ※1	6,300,990	5,914,320	5,754,550	6,996,960	5,044,320	5,044,320
(総事業費試算)		0	0	0	0	0	0
		101,042,462	83,437,027	83,517,443	211,454,164	110,676,320	83,155,320

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3. 評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値 実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標 1	救急医療体制整備メニュー数	目標値 実績値		7.00 7.00	7.00 7.00	7.00 7.00	7.00 7.00	7.00 0.00	7.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠		救急医療体制の整備に係る事業数							
		体制整備メニュー数									
■	成果指標 1	休日急患診療所診療日数	目標値 実績値	日	69.00 70.00	69.00 72.00	69.00 75.00	69.00 70.00	69.00 0.00	69.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠		初期救急医療体制整備のため日、祝日、年末年始の開設を目標値として設定							
		診療日数									
■	成果指標 2	こども夜間診療所診療実施率	目標値 実績値	%	100.00 32.87	100.00 33.15	100.00 33.87	100.00 32.87	100.00 0.00	100.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠		小児の初期救急医療体制の整備、拡充を目指し目標値を設定							
		診療日数／目標値（365日）									
□			目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠									

4. 観点別評価（A：目標値どおり（以上） B：ほぼ目標値どおり C：目標未達成 ー：目標値の設定がないもの）

活動 (意図した活動を行っているか)	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 初期救急（在宅当番医制運営委託・休日急患センター運営費補助金）、二次救急（病院群輪番制病院運営費補助金・小児救急医療支援及び医師派遣支援）、三次救急（深谷赤十字病院運営費補助金）において補助金を交付し、救急医療体制の維持に努めることができた。
成果 (意図した成果が上がっているか)	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 初期救急医療の体制確保において開設している休日診療所については、目標値どおり達成することができた。なお、子ども夜間診療所においては、120日間（土日・祝日・年末年始）のみであるため、32.87%の実施率となっている。
効率性 (効率的に事務を行っているか)		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
評価者		地域医療係長 森田富雄

5. 前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	小児救急医療体制の確保に向けては、引き続き医師会や医療機関と調整に努める。 また、引き続き市民に対し医療機関の適正受診等呼びかけていく。
達成状況 及び その効果	小児救急医療について、深谷市が令和2年度から2年間の代表幹事市であることから、熊谷保健所と連携を図りながら体制の確保に努めることができた。 また、市民に対し医療機関への適正利用やかかりつけ医に関する周知、救急電話相談・救急受診アプリの周知等、広報誌やホームページ等を通じて情報発信を実施した。

事務事業評価表

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	救急医療体制整備事務	担当課	保健センター	担当係	地域医療係	管理番号	3342
<div>■ ① 現状のまま継続</div> <div>□ ② 見直して継続</div> <div>□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）</div> <div>□ ④ 目的達成による終了</div> <div>□ ⑤ 廃止を検討</div> <div>□ 委託化等の検討</div> <div>□ 成果向上のための改善</div> <div>□ 効率化のための改善</div> <div>□ 事業規模の縮小</div> <div>□ 他の事務事業と統合</div>			評価の内容説明				
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？			評価者 保健センター所長 清水良保				

7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	小児救急医療体制の確保に向けては、引き続き医師会や医療機関と調整に努める。 また、引き続き市民に対し医療機関の適正受診等呼びかけていく。
--------	---

8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	救急医療体制の運営・維持・整備を図るためには、多額の費用負担を伴うため、今後も市の財源確保、近隣市町との調整が大きな課題である。 また、小児救急医療支援事業において、医師不足等により体制の確保がとれないことのないよう、県と連携し、適宜情報を把握しておく必要がある。
-------	---

9. 評価指標グラフ

